

アンケート期間：2026/6/6-2026/3/14	Growup同峰羽北	回答者/アンケート実施者：20人/36人	
質問	選択数ごとの回答数	意見・自由記述	ご意見を踏まえた対応
こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい12/わからない5/どちらともいえない3	・少し狭いかなと思います。 ・施設を移動してから、建物内を見たことごといため	ご意見ありがとうございます。現在、机のサイズの検討などをしております。また、動きのある活動の場などは、机を移動させ、スペースを確保し安全に活動できるように工夫しています。また、2階の職員室の机を付けたて、ヨガ等行う事もあります。
職員の数も適切であると思いますか。	はい12/わからない4		
生活空間は、こどもが安心して過ごせる環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切にされていると思いますか。	はい14/わからない5/いいえ1		
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	はい14/わからない4/どちらともいえない2		
こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に合った専門性のある支援が受けられていると思いますか。	はい18/わからない1/いいえ1		
事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	はい19/どちらともいえない1		
こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	はい20		
放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	はい19/どちらともいえない1		
放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	はい20		
事業所の活動プログラムが個定化されたような工夫されていると思いますか。	はい18/どちらともいえない4		
放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	はい8/わからない5/どちらともいえない4/いいえ3		
事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	はい20		
「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	はい20		
事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加できる研修会や情報提供の機会が提供されていますか。	はい18/どちらともいえない2		
日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	はい19/どちらともいえない1		
定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	はい20		
事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	はい20		
父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	はい15/わからない3/いいえ1/どちらともいえない1		
こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知、説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	はい20		
こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	はい20		
定期的に連絡ホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡先等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	はい15/わからない3/どちらともいえない2		
個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	はい19/どちらともいえない1		
事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	はい13/わからない6/どちらともいえない1		
事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	はい11/わからない2/どちらともいえない2	・訓練が行われているかは把握していません。	ご意見ありがとうございます。避難訓練は、最低、年5回は行っています。活動として行うときと、事前連絡なしで行うときがあります。その他、防災備品などは、定期的に点検をし、補填をしています。
事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われていると支援が受けられていると思いますか。	はい18/わからない2		
事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	はい17/わからない2/どちらともいえない1		
こどもは安心感をもって通所していますか。	はい19/どちらともいえない1		
こどもは通所を楽しみにしていますか。	はい15/どちらともいえない4/いいえ1	・苦手な子がいる時は嫌がります。	ご意見ありがとうございます。苦手な子がいる児童さんには、活動時のグループを別にした時、フリータイム時も距離が近くなりすぎないようにスタッフの声がけを見守りをしています。また、本人とも話し、苦手な子との距離の取り方を一緒に考えています。
事業所の運営に満足していますか。	はい19/どちらともいえない1		
職員の影響・態度・対応について【言葉遣い】	よい16/おむねよい4		
職員の影響・態度・対応について【身だしなみ】	よい15/おむねよい5		
職員の影響・態度・対応について【返答時の対応】	よい11/おむねよい9		
職員の影響・態度・対応について【電話等の連絡対応】	よい19/おむねよい1		
職員の影響・態度・対応について【お子さんへの対応】	よい15/おむねよい5		
職員の影響・態度・対応について【相談のしやすさ】	よい17/おむねよい3		
具体的なエピソードや改善点があればご記入ください（任意）			
施設に開所した場合利用を移しますか？	はい11/いいえ4/わからない4/どちらともいえない1		
支援者曜日(実際に施設での様子を見学する)等あれば希望を希望しますか？	はい18/どちらともいえない2		
外出、調理、工作などの活動で1ヶ月以上出して良い金額はいくらが妥当と考えますか？	1,000円～1,500円7/500円～1,000円6/1,500円以上4/500円以内3	・子供のためになるなら、それより助産になるなら ・支援にかかる費用は、保護者負担でいいと思うので、金額は多少気にしません。自身受取に、外出、調理、工作のおむねその内容も載せてもらえたらありがたいです。近くなつたからのお知らせせよ。あらかじめ分かっている申し込み時の参考になります。 ・少しずつではあるが、気持ちのコントロールが出来るようになってきた。 ・人の関わり方区別がつかない ・自分に自信を持って行動できるようになりました。また、場でも車は言わないで言ったのはスタッフの影響が大きいと思います ・積極的になった ・相手の話を聞くようになった。	白頭より、支援にかかると費用負担へのご理解、ご協力をありがとうございます。申し込み開始前に配布する月予定表に外出、調理などの予定を具体的にいれ、お申し込み時に配布する月予定表に外出、調理などの予定を具体的にいれ、お申し込み時の参考にさせていただきようになっています。また、自己負担額もなるべく安くご連絡できるよう、努めてまいります。貴重なご意見ありがとうございます。
施設を利用してからのお子様の変化がありましたらご記入ください(任意)	小学生20	・頼も感が増える機会があればいいと思う ・他の子と仲良く活動できる場面が多ければ嬉しいです。	ご意見をありがとうございます。今年度は、保護者交流会が開催できず大変申し訳ありませんでした。今後は、保護者の方同士の交流出来る機会をつくることを考えております。その際は、ぜひご参加いただければと思います。
施設での活動や就労作業等を取り入れてほしいこと等ありましたらご記入ください(任意) その他施設への要望等ありましたらご記入ください(任意)	普通中学 20		
お子様は現在(今年度時点)	普通中学 一般職13/検定中5/普通中学 支援職2		
中学進学時の進路について現在の考えをお聞かせください		・高学年になるにつれ勉強がついていけるのか不安なのその時にまた進先を考えたい ・勉強についていけるか、新しい環境に馴染めるか心配です。 ・提出物に対して考えが足りない、板書をしない。漢字を便がない。苦手なものやらない。というのが現状であり、大人にならなければならないものが残っているように思う。中学まではテストの点数が大きく評価されると思うので、平仮名ばかりの答案が心配。支援施設に行くほどではないが、普通級も心配で、親としてはもやもやします。	学習についての不安な気持ちを率直に伝えていただきありがとうございます。各児童さんの学力の定着を確認させていただいています。これまでも、学力テストの結果などを提出していただき、所を把握し、必要な支援をしています。また、活動の時に、聞いて頂く、または板書をすると内容も入れているので、今後も板書を、聞いて書く事を継続します。
進先について考えていることや不安な点があればご記入ください(任意)	一般高校10/検定中8/高等支援学校1/通信制高校1		
高校進学時の進路について現在の考えをお聞かせください			進路につきまは、児童さんの成長に合わせて面談などで話をさせていただいております。 ・一般ではあるがその時に本人がやりたいことあれば、専門的なコースのある学校でもいいと思う ・高校に行きたくないという考えから、高校までは卒業していただく考えに変わりましたが、行けるところがあれば頑張ってください。
進先について考えていることや不安な点があればご記入ください(任意) [2]	検定中13/進学(大学・短大・専門学校)4/一般就労(企業就職等)2/福祉サービス利用(就労移行、就労継続A・B型、自立訓練、生活介護など)1		
高校卒業後の進路について現在の考えをお聞かせください	知らない7/名前だけ知っている6/よくわからない4/知っている3		
進先や卒業後の生活について、具体的に考えていることや不安な点があればご記入ください(任意)	家事練習11/コミュニケーションの練習9/学習サポート8/メンタル面のサポート7/趣味・関心・興味に合わせた個別支援6/実習・社会経験を積み機会5/よくわからない3/生活リズム改善3/特に必要な2		
「自立訓練（生活訓練）」という福祉サービスを知っていますか？	知らない7/名前だけ知っている6/よくわからない4/知っている3		
「自立訓練（生活訓練）」とは、自立した生活を送れるよう、期間（原則2年）を設けて「日常生活に必要なスキル」を身につけるためのトレーニングを行う福祉サービスです。どのような支援があれば、「利用してみたい」と思いますか？（複数選択可）	よくわからない6/あまりない5/少しある3/ある3/全くない2		
「自立訓練（生活訓練）」について、ご意見がありましたらお書きください(任意)	特になし2		
相談、お子様の一入暮らし（サテライト型住居含む）やグループホームでの生活に興味はありますか？	よくわからない6/あまりない5/少しある3/ある3/全くない2		
※「サテライト型住居」とは？ひとり暮らし用のアパートで生活しながら、必要なときにグループホームの支援（食事や相談等）を受けられる住まいのことです。	特になし2		
グループホームとは、地域の中で支援員からサポートを受けながら、数人で共同生活を送る場所です。どのような支援があれば、「利用してみたい」と思いますか？（複数選択可）	特になし2		
「グループホーム（共同生活援助）」について、ご意見がありましたらお書きください(任意)	特になし2		
短期入所(ショートステイ)について知っていますか？	知っている14/知らない4/よくわからない1		
※短期入所(ショートステイ)とは、施設に短期間泊泊し、生活支援を受けるサービスです。ご本人の気分転換、将来の自立に向けた「宿泊の練習」、ご家族の休息(レスパイト)を目的としたサービスです	知らない5/よくわからない8/利用を検討したが、断念した5/現在利用している2/時々利用している2		
障社の運営する短期入所(ショートステイ)プログラムについて、ご意見がありましたらお書きください(任意)	本人の自立(経験)のため1/本人の気分転換のため1/家族の休養(レスパイト)のため1		
短期入所施設に対する要望(任意) 例：夜泊営業してほしい等			
利用に結び付かなかった理由で当てはまるものを選択してください(複数選択可)	年齢的に早い3/サービスの必要性を感じない3/場所が遠い1/使いたい方が少ない1/本人の意思に任せたい1/ために利用してみようと思いましたが1/本人が行きたくないと言ったから1		
短期入所施設に対する要望(任意) 例：体験会をしてほしい等			

アンケート期間：2026/3/6-2026/3/14	Groupアップ岡崎羽根北	
質問	評価結果	工夫している点 課題や改善が必要な点
利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	はいえ3/はい2	・子どもの動く順や、動き方に配慮し、ぶつかったりしないようにしている ・スタッフが点在する形で見守りをする ・最低限、歩くことができる空間を作っている。机等を交互に置くなどしている。
利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数等は適切であるか。	はい4/はいえ1	・机と机の間が狭い ・送迎でも人員が少ない時だけ対応が難しい ・とにかいく狭い。利用者同士の距離が近く、落ち着かなくなる
生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境への配慮が適切にされているか。	はい3/はいえ2	
必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	はい3/はいえ2	
業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	はい4/はいえ1	
保護者向け評価表により、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	はい5	・意向等を朝礼で発表し、共通理解している
職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	はい5	
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	はい4/はいえ1	
職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	はい5	
適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	はい5	
個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	はい5	
放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	はい5	・話し合う時間がとれない時は、気付いたことや、メモ書きしている。
放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	はい5	
こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	はい4/はいえ1	
放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	はい5	
活動プログラムの立案をチームで行っているか。	はい5	・担当が立案し全員で検討
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	はい5	
こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	はい5	
支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	はい5	
支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	はい3/はいえ2	・支援終了後は送迎があり支援の振り返りは難しいが、翌日に振り返り等を行っている
日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	はい5	
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを判断し、適切な見直しを行っているか。	はい5	
放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	はい5	
こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	はい5	
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議し、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	はい5	
地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	はい5	
学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	はい5	
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	はい5	
学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	はい5	
地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	はい5	
放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	はいえ3/はい2	
(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	はい4/はいえ1	
日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	はい5	
家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	はい5	
運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	はい5	
放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえ、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	はい5	
「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	はい5	
家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	はい5	
父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	はい4/はいえ1	
こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	はい5	
定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	はい4/はいえ1	
個人情報の取扱いに十分留意しているか。	はい5	
障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	はい5	
事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	はい5	
事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	はい5	
業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	はい5	
事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	はい5	
食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	はい5	
安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	はい5	
こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	はい5	
ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	はい5	
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	はい5	
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、相協的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	はい5	

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Growup岡崎羽根北
○保護者評価実施期間	2026/3/6-2026/3/14
○保護者評価有効回答数	20
○従業者評価実施期間	2026/3/6-2026/3/14
○従業者評価有効回答数	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/25

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様のご希望を聞いて、取り入れた活動。教科に関わる内容を取り入れた活動プログラム	小学校、中学校で使用している教科書を参考にして、活動に取り入れています。	運動をもう少し増やし、気持ちの調整を高める事や、必ず活動に参加するという進め方ではなく、頑張りすぎてしまう利用者様に「やらない」選択も出来るように進めています。
2	保護者との良好な信頼関係	迅速かつきめ細やかで丁寧な対応 LINEなどの連絡ツールを活用し、保護者が気軽に相談できる環境を整備	今後、外国籍の保護者様へ合理的配慮を、施設だけでなく会社全体で共有できるようにして行く。
3	地域社会との関わり	赤い羽根共同募金街頭活動等、利用者様の意見でボランティア活動を継続して、社会とのつながりを作っています。	赤い羽根共同募金以外にも、老人施設等訪問して音読等活动で積み重ねてきた事を活かしたり、ボランティアセンターを見学して新たなパイプ作りを進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の環境が、以前より下がった。	狭いなど物理的要因。	備品の工夫をして、さらに安全に過ごせるよう考える。根本的には、以前利用していた広さがある建物が必要かと思われませんが、利用者様の安全を第一に考えた備品の位置や大きさを考えていきます。また、距離間のとり方を利用者様と一緒に考えると、弱みを強みに変える思考で支援につなげていきます。
2	保護者交流会等家族支援がコロナ以降減ってしまった。	年間の行事予定、家族支援等を職員全体で共有していない部分があった。	企画実施が出来るよう、施設の年間行事予定、家族支援等の共有を図る。
3	現場負担に対する人員不足感	支援に人手が必要な機会が多く職員の負担が大きいと感じています。	職員同士で協力し、業務の効率化を図りながら、できる限り負担を分担できるよう努めます。